

事業所名

放課後等デイサービス ふないりBASE

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

R7

年

4月

15日

法人（事業所）理念		子どもたちが人生の選択肢を広げ、自分らしく生きられるよう支援を行う							
支援方針		運動療育を中心に、農体験や金銭学習を通じて、多面的な成長を支援する。 療育の中で小さな成功体験を積み重ね、子どもたちが日常生活や社会の中で、自分の意思決定で自分らしく生きていけるよう支援を行う。							
営業時間		平日 土・長期休暇	9 8	時 30	分から 18 17	時 30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善：運動療育（ダンス・ボルダリング）を通じて日常生活に必要な基礎体力や持久力を養う。 生活習慣の改善：運動機会を設けることにより、規則正しい生活習慣を形成する。 健康管理：自分の体調を自覚するための声かけや、運動前の準備運動を徹底することで怪我予防の意識付けを行う。 主な療育：運動療育および準備運動、健康チェック（検温等）、避難訓練など							
	運動・感覚	運動能力の向上：運動を通じて前進の運動機能を発達させる ボディコントロール力の向上：ダンスを通じて自身の体の動きをコントロール（力の加減・平衡感覚）する力と理解する力をつける 四肢の感覚向上：ボルダリングにより指先、足先の動作確認、姿勢の保持を行い、末端の感覚を高める 主な療育：【粗大運動】ダンス・ボルダリング・トランポリン・縄遊び等 【微細運動】コマ、工作、LaQ、レゴ等							
	認知・行動	目標設定と成功体験：フレーズごとにダンスの振付を覚える、ボルダリングのゴールを目指す等、目標設定を行い小さな成功体験を積み重ねていく 時間、数の認知：療育時にタイムスケジュールの確認徹底と、金銭学習により時間と数の認知能力を高める。 空間の認知：ダンスやリズムトレーニングにより自分と他者の動きを視認することで、空間の認知能力を高める 主な療育：金銭学習、ごっこ遊び、言葉遊び、個別活動、絵カードの使用							
	言語 コミュニケーション	指示の理解：インストラクターの指示を聞き、理解し、行動するを習慣化し、言語理解力を育てる 相手への伝達能力：運動療育の最後に振り返りを行うことで、できたこと、できなかったこと、難しかったこと、次はこうしたいといった、自分の気持ちを言語化する機会を設ける 主な療育：運動療育時の指示、金銭学習（お店ごっこ遊び等含む）、絵カードの使用							
	人間関係 社会性	チームプレイ：複数人で踊るダンスは他者との呼吸合わせが重要となり、ダンスを通じて他者と協力する力や達成感を育む 失敗の経験：振付を間違える、ボルダリングでゴールに辿り着けなかった等の失敗体験、また、逆にできた時の成功体験を積、悔しさや喜びを感じ、それらを表現する力を育む 体験の共有：農業、運動等の体験後に感情、感想を言葉にして共有することで、具体的な経験と言語の意味を結びつける 主な療育：農業体験、お出かけ、買い物、地域イベントへの参加							
家族支援		療育時の児童の様子を連絡ノートや送迎時の会話等で保護者に情報共有するとともに、必要に応じて面談や参観の場を設け、保護者の不安や悩みを聞き取り、解決に向けた支援を行う。				移行支援		保護者との面談により情報を聞き取り、各事業所間と連携を図り、スムーズに就学、就労に移行できるよう支援を行う。	
地域支援・地域連携		地域イベントの積極的参加と、学校や他事業所等、各関係機関との情報共有を行い、利用者が地域で安心して生活できる環境作りに努める。				職員の質の向上		毎月の事業所会議を実施し、好事例や問題点の共有を行うとともに、勉強会や研修への参加を行い、職員のスキルアップを図る。各種資格取得に向けた研修への参加に加え、虐待防止研修等への参加を行う。	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>●毎月の誕生日会の実施</li> <li>●夏祭りやクリスマス等、季節ごとのイベント開催</li> <li>●土曜日、長期休暇中の農地体験やアウトドアイベントの開催</li> </ul>							